

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・客単価の低迷は続いているが、年末、土日の来客数は多くなっている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・来客数は前年と変わりがないが、売上は増加している。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・改装中ということもあり半分近くの売場が閉鎖しているが、来客数は対前年比10%増加で推移している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・単価の低下は続いているが、来客数は前月に比べるとやや回復している。そのため売上は前年割れしているが割れ幅は小さくなっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車の発売で、来客数、販売量ともに増加している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・販売量は前年同期と比較して復調の兆しが見られる。
		旅行代理店（従業員）	競争相手の様子	・当社の顧客企業に関しては、新年会旅行などの団体旅行が復活してきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・正月はデパートや挨拶回りに出掛ける客が多く、金曜日、土曜日は新年会などへ出掛ける客が多かった。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・競争激化による落ち込みを予想していたが、契約数こそ減少してきているものの問い合わせなどはまだ多い。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・年末商戦の勢いを持続しており好調である。
	その他サービス〔パチンコ機器製造販売〕（エリア担当）	販売量の動き	・年末の新製品が販売量増加に貢献している。	
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・来客数の動きは悪くないが、相変わらず必要以外の物は買ってもらえず、自家消費の売上が伸び悩み客単価は低い。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・バーゲン前は前年と比べ多少良かったが、全体的には前年より悪く、販売量が伸びていない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・バーゲンの出だしは好調だったが、下旬頃にはすでに春物待ちになっている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・福袋やクリアランスセールへの客の反応はよく売上も増加するが、セール終了後にその反動が来て全体の売上は前年並みになっている。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・福袋やバーゲンは好調だったが、全体的にみると変化はない。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・クリアランスセールで今まで動かなかった客が多数来店し、まずまずの売上である。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・まだ本格的ではないものの、客の来店回数が増加するなど購買の活発化もみられる。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・12月の買控えもありバーゲンの出だしは好調だったが、客は値段が安くても必要以上の物は購入しない。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・広告で大きく扱う目玉商品は売行き好調だったが、扱いの小さな商品は前年より売れていないものも多い。
スーパー（仕入担当）		販売量の動き	・コンビニなどの競合店の進出が目立ち、総菜や弁当などを買う夜間の客がややそちらに流れている。	
コンビニ（経営者）	それ以外	・取引先の業績が良い卸問屋でも給料カットなどリストを進めている。		
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上の対前年比は98%台と前月よりは改善傾向にあるが、客の購買意欲は変わっていない。		
衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・来客数が減り、買控えもあって売上は減少している。		
家電量販店（店長）	単価の動き	・前半はテレビなどの大型商品が売れていたが、後半は販売量、単価ともに伸び悩んでいる。		
家電量販店（店員）	販売量の動き	・販売量、単価、客の様子ともに悪い状況で、客の財布のひもは相変わらず固い。		
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・客はますます慎重になっており、まず価格ありきの状態である。できる限り出費を抑えようと妥協して購入する客が増加している。		

	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・年末より忙しくなっているが、売上の増加には結びついていない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の売行きは対前年比100%を超えるが、車検や定期点検など維持費にける支出は減っており、全体的な数字はほとんど変わらない。
	その他小売〔貴金属〕（経営者）	販売量の動き	・一部ではブランド品が売れているが、大半は買控えが浸透している。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・年明けは幸先良かったが、月末にその反動が来ている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・客は必要以上には買わなくなってきており、高額品を避け低額品を購入するなど単価が低下している。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・単身の若者には変化がないが、主婦層などは買物が慎重になっている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・家電商品の販売量が非常に悪い。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・高額品は動かず、ギフトも依然として低額品が大半を占める。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・5日までは街にも例年並みの人出があったが、それ以降は人出も来客数も極端に減少し、結果として対前年比5～6%減となっている。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	お客様の様子	・客は必要とする商品、欲しい商品しか購入せず、こちらから積極的に勧めても買ってくれることは少なくなっている。
	百貨店（売場担当）	単価の動き	・客単価が対前年比95%と低迷している。
	スーパー（経営者）	単価の動き	・最近では100円セールでなく88円セールがメインになっており、客に買控えがみられる。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・大型店などの影響が大きく、来客数が減少している。
	スーパー（店員）	販売量の動き	・年明けから売上は対前年比78%とかなり減少している。
	スーパー（店員）	来客数の動き	・競合各店のポイントサービスなどによって来客数数が影響されている。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・前年と比べて客単価が大幅に低下している。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・スーパーの元旦営業や異業種との競合等により、正月3日は売上がまったくなかった。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価はさらに低下しており、客数が前年並みでも売上の対前年比は92～95%にまで落ち込んでいる。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・廃業する飲食店が増加しており、業務用卸の酒類の販売量が激減している。
	家電量販店（経営者）	お客様の様子	・客の買物は慎重になっており、割安な商品ばかりの買上になっている。
	家電量販店（従業員）	単価の動き	・来客数は伸びているが、平均単価の下落はまだまだ続いている。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・販売量が前年同月、3か月前と比較してかなり落ち込んでいる。
	自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・客単価が落ち込み、売上に大きく影響している。
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・先行きが不安なため客の購入意欲は低下している。来客数が減少しており、また来店客も値引き要求が厳しくなっている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・値引き条件が増え価格維持が難しくなっている。販売は対前年比87%に終わっている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・新年会などはますます減少し、街の人通りも金曜日以外は少なく売上は増加していない。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊を伴う宴会、会議の予約が20～30%減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・新年会が少なく、宿泊も大幅に減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数が伸びず、競争やデフレで単価も低下している。
	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・昨年並みの受注はあるが単価が低く、前年並みの売上を確保するには受注を前年の110～115%にする必要がある。
旅行代理店（従業員）	単価の動き	・高いツアーへの参加が減少している。	

		タクシー運転手	お客様の様子	・例年は成人式頃まで新年会帰りの深夜客もあったが、今年のみられない。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・平日など低料金日は来客数は増加するが、土日祝日は減少している。
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来客数はやや減少しており、割引券などで客数をなんとか維持している。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・客の来店周期が長くなっている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・前年度と比較し来客数は減少している。
悪くなっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の予算が少ないため安価品の購入が増え、単価はどんどん下がっている。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・スーパーなど競争相手が増える一方で、同業者の廃業が増えている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・売上がまったく伸びず、同業者の倒産や廃業など暗い話題が多い。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数の減少と単価の落ち込みの二重苦で売上が減少している。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・新商品しか売れない状況である。
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・今月の売上是最悪で、身に染みるほどである。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・忘年会、新年会も控えられているようで、来客数は激減し30人以上の宴会がほとんど入らない。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・新メニューの開発、サービスの向上、販売促進策の強化等営業施策を総動員しているが、来客数はじりじりと減少している。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の来店回数が減少し、客単価も低下している。
		バー（経営者）	来客数の動き	・2～3人連れで来ていた客が単独で来店するようになるなど、来客数が減少している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・ここ数年新年会はなくなっていたが、今年は予想も下回るひどい状況である。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・例年より来客数は減少している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・パーマの注文が減少し、カラーリングも低年齢層を中心に自分でする事が多くなっており、客単価が低下している。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅の契約件数の減少に加えて、契約後にキャンセルする客も増加している。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	販売量の動き	・通常1月は受注量が減少するが、例年よりもさらに受注量が減少している。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・新型車の販売が好調で受注量が増加してきている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・価格を下げないと売れない状況が続いている。
		一般機械器具製造業（販売担当）	取引先の様子	・引き合い件数は変わっていない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・見積りや引き合いはあるが、価格が相変わらず低い。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・問屋や材料屋など2次店、3次店の中間業者の仕事は減少している。
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・自動車関連以外は仕事が少なく、仕事がある自動車関連からも10%程度の値引要請がある状況である。
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・経費の見直しをしている取引先が多い。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・販売部数、折込広告ともに引き続き微増である。

やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が減少している。	
	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・単価の高い商品や値下げが止まっている商品も一部あるが、販売量が増加していないため売上は伸びていない。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに10%程度減少している。	
	化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・これまでは割安製品は販売量を期待できたが、ここに来てその動きも停滞している。	
	金属製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・大型プロジェクトの谷間で当面の仕事量に非常に不安がある。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・製品コストの3分の1を占める欧州からの輸入品がユーロ高等により値上がり傾向である。加えて国内の設備投資も沈滞し、値下げ競争が激化して利益が減少している。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売額は例年同月並みであるが、欧州、アジア向け輸出が不振である。	
	電気機械器具製造業（従業員）	それ以外	・特別価格製品の販売は良いが、通常の商談は厳しい状況である。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・生産計画を下方修正している。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引企業の設備投資がなく、仕事がない。	
	建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・工事規模は依然として小さく、受注量も少ない。	
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・建設関連企業の案件は大手企業でもいよいよ少なくなってきた。	
	公認会計士	取引先の様子	・取引先の資金繰りの悪化が激しく、人員整理などのリストラ、倒産が増加している。顧問料の引き下げ要求も増加している。	
悪くなっている	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	受注価格や販売価格の動き	・客単価は依然として低下傾向にあり、売上の減少が続いている。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・輸送量が低調な時期であるが、例年以上に輸送量が少ない。	
雇用関連	良く なっている	-	-	
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の申込は対前年比で13ポイント改善している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比べて有効求人は1.03%増加し、有効求職者は1.05%減少している。 ・求人は卸小売、飲食店で対前年同月比20%以上減少しているが製造業で100%以上増加しており、全体的には60%以上の大幅増加となっている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・高いスキルを持った派遣社員の要請がある一方で、単純な事務業務の受注はほとんど無い。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・派遣社員に対する残業抑制など、取引先企業のコスト削減志向がより強くなっている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・企業からのオーダー数は平均的な水準で推移している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・パート、アルバイトや業務請負の求人は、対前年比89.2%と4か月連続で前年を割っている。高齢者向けの求人が落ち込んでいる。 ・求人情報誌で若者向けのパート、アルバイトの広告が増えているが、雇用形態が正社員からパート、アルバイトへと急速にシフトしている現れである。
		職業安定所（所長）	採用者数の動き	・新規求人は増加傾向にあり新規求職者は減少傾向にあるが、企業の採用意欲はまだはっきりしない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月と比較して、求人は新規、有効とも増加し、求職者は減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は前年並みに推移している。特に東海環状自動車道の建設が最盛期を迎え、建設土木の求人に良い影響を与えている。ただし年明けに倒産件数が増加しており、全体としては横ばいである。
学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数の動きは微増、もしくは横ばいとどまっている。		

やや悪くなっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・派遣単価を下げないと受注できない状況である。
	アウトソーシング企業(エリア担当)	求人数の動き	・採用者数は全般的に減少しつつあるが一部の業種では拡大しており、バラツキが目立ち始めている。
	民間職業紹介機関(経営者)	採用者数の動き	・自動車関連企業の採用意欲はおう盛だが、充足感が出始めている。電気電子系では技術者の求人は多いが求職者が不足しており、求職者の多い事務系では求人が少なく、採用者数は伸びていない。
悪くなっている	-	-	-